

令和4年度県内避難者アンケート調査の結果について【概要】

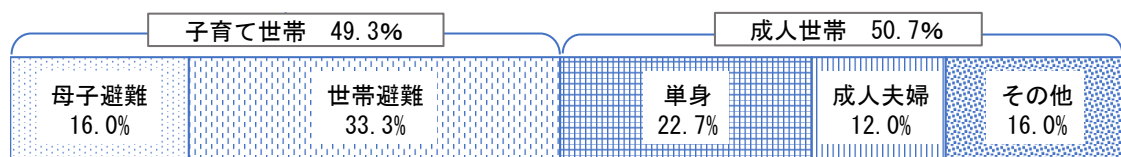
1 調査の概要

- (1) 目的：東日本大震災から11年半が経過し、秋田県内に避難している方々の避難生活が長期化していることや、避難をとりまく環境が大きく変化していることから、このアンケート調査を通して、避難者の現状とニーズを把握し、今後の支援施策の参考とする。
- なお、アンケート調査は平成24年から実施しており、今回が11回目である。
- (2) 調査対象：東日本大震災により秋田県内に避難されている166世帯
- (3) 調査方法：郵送によるアンケート調査
- (4) 調査期間：令和4年6月～8月
- (5) 回収率：45.2%（75世帯）

2 調査結果のポイント

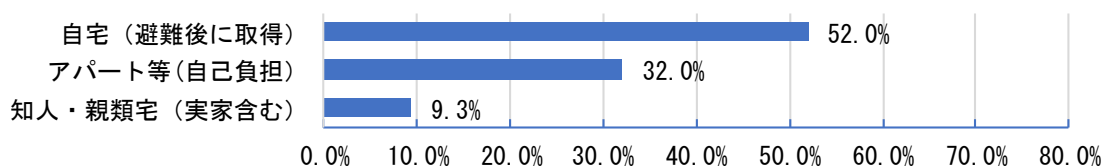
(1) 避難世帯の状況について

5割が子育て世帯。



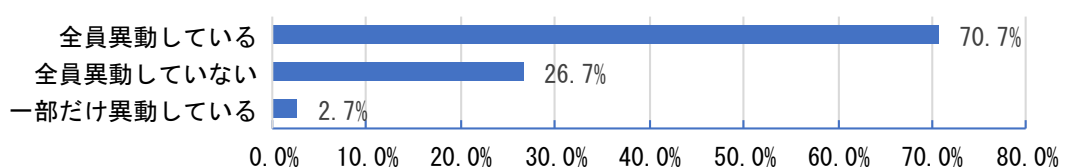
(2) 現在の住居について

現在の住居形態の上位は、「自宅(避難後に取得)」や「アパート等(自己負担)」。



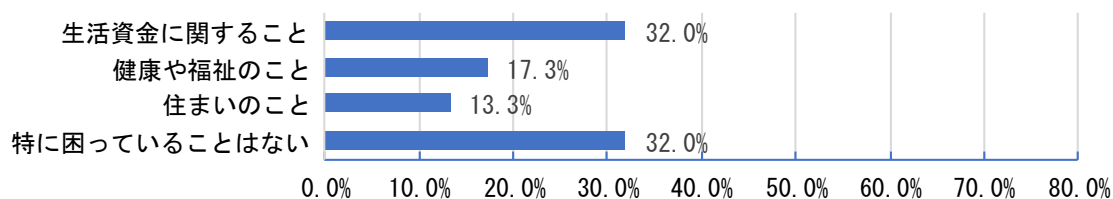
(3) 住民票の異動状況について

7割の世帯が、家族全員の住民票を異動。



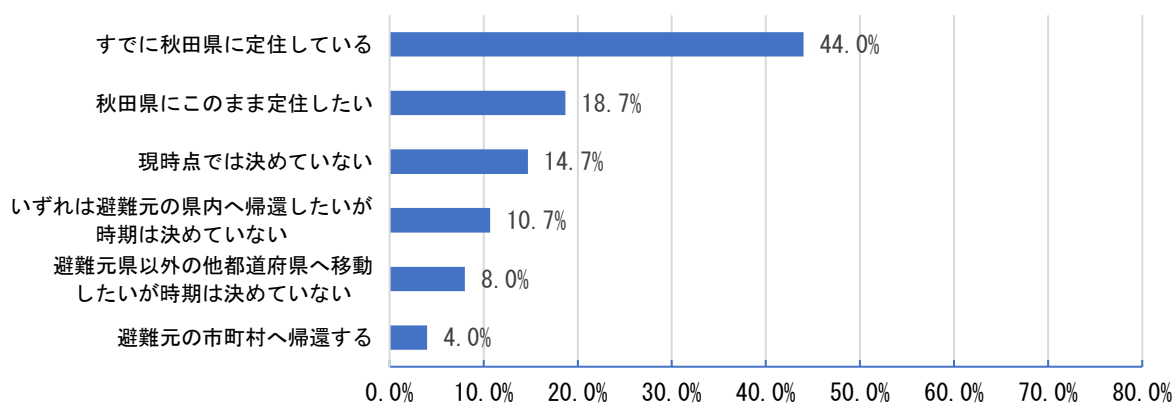
(4) 困っていること、不安なことについて（複数回答可）

困りごとと不安なことの上位は、「生活資金」、「健康や福祉」に関すること。



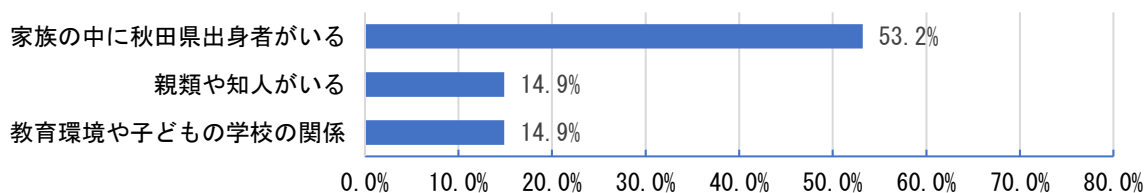
(5) 今後の予定について

6割の世帯が、「秋田県に定住している」、「定住したい」と回答。



(6) 秋田県への定住を決めた理由について

定住を決めた理由の上位は、「家族の中に秋田県出身者がいること」や「親類や知人がいること」、「教育環境や子どもの学校の関係」。



(7) 必要な支援について（複数回答可）

必要とする支援の上位は、「医療費の助成」や「避難生活に対する助成」。

